

第200回柏崎地域早期景気観測調査 報告書

< LOBO調査結果 >

— 平成28年7月期 —

〔調査方法〕

会員企業182社に対して、毎月下旬に【業況】【売上】【採算】【資金繰り】【仕入単価】【従業員】【資金借入難易感】の7項目について「前年同月比」(※従業員DIについては今期水準)および「向こう3か月の先行き見通し」の調査を依頼、翌月上旬までに寄せられた回答を集計し、その結果をDI値で表します。

DI値は、実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを含みます。

〔DI値とは〕

DI値(景況判断指数)とは、「増加・好転」などの回答割合から「減少・悪化」などの回答割合を引いたもので、景況感の方向、強弱を示します。

【業況】…「好転」-「悪化」	【売上】…「増加」-「減少」
【採算】…「好転」-「悪化」	【資金繰り】…「好転」-「悪化」
【仕入単価】…「下落」-「上昇」	【従業員】…「不足」-「過剰」
【資金借入難易感】…「容易」-「困難」	

〔調査対象業種〕

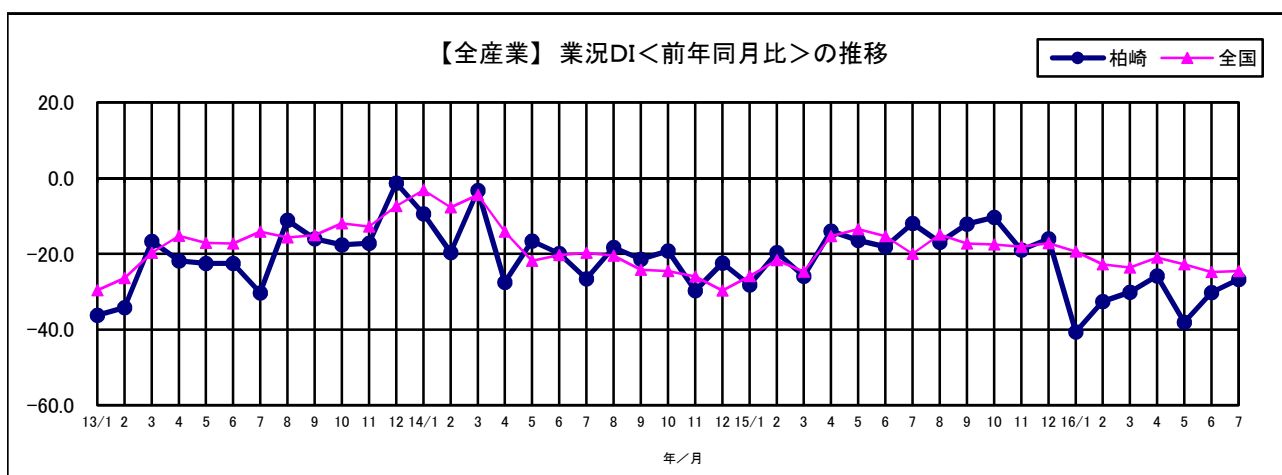
建設業	総合工事業、設備工事業、職別工事業
製造業	鉄鋼・金属製品・機械器具製造業、食料品・印刷・窯業・土石製品製造業
卸売業	建材・鉱物・機械器具卸売業、飲食料品・衣服等卸売業
小売業	飲食料品小売業、衣料・身の回り品・その他小売業
サービス業	宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業

〔調査対象数・回答状況〕

業種	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	全産業
調査対象数	41	49	25	31	36	182
回答数	33	37	15	19	26	130
回答率(%)	80.5%	75.5%	60.0%	61.3%	72.2%	71.4%

◆概況(全産業合計)

項目		16年2月	16年3月	16年4月	16年5月	16年6月	16年7月	先行き見通し 8月~10月
業況	柏崎	▲ 32.6	▲ 30.1	▲ 25.8	▲ 38.1	▲ 30.2	▲ 26.7	▲ 30.8
	全国	▲ 22.8	▲ 23.6	▲ 21.0	▲ 22.8	▲ 24.8	▲ 24.5	▲ 23.2
売上	柏崎	▲ 26.5	▲ 22.6	▲ 27.2	▲ 46.1	▲ 33.4	▲ 27.3	▲ 30.2
	全国	▲ 19.3	▲ 14.9	▲ 12.5	▲ 17.6	▲ 21.5	▲ 20.6	▲ 18.0
採算	柏崎	▲ 32.7	▲ 25.5	▲ 22.2	▲ 34.7	▲ 36.1	▲ 18.1	▲ 26.7
	全国	▲ 22.3	▲ 17.7	▲ 16.6	▲ 19.0	▲ 20.6	▲ 22.2	▲ 21.4
資金繰り	柏崎	▲ 19.4	▲ 14.2	▲ 13.4	▲ 21.8	▲ 18.1	▲ 6.4	▲ 10.1
	全国	▲ 12.8	▲ 11.7	▲ 9.1	▲ 12.5	▲ 12.1	▲ 12.1	▲ 13.2
仕入単価	柏崎	▲ 22.0	▲ 21.3	▲ 24.8	▲ 20.1	▲ 22.3	▲ 15.0	▲ 14.8
	全国	▲ 24.9	▲ 24.2	▲ 25.5	▲ 22.4	▲ 21.5	▲ 20.8	▲ 20.0
従業員	柏崎	12.7	10.2	9.3	6.4	7.3	12.8	14.7
	全国							16.9
資金借入難易感	柏崎	2.6	0.2	8.3	▲ 0.9	1.2	6.8	5.1



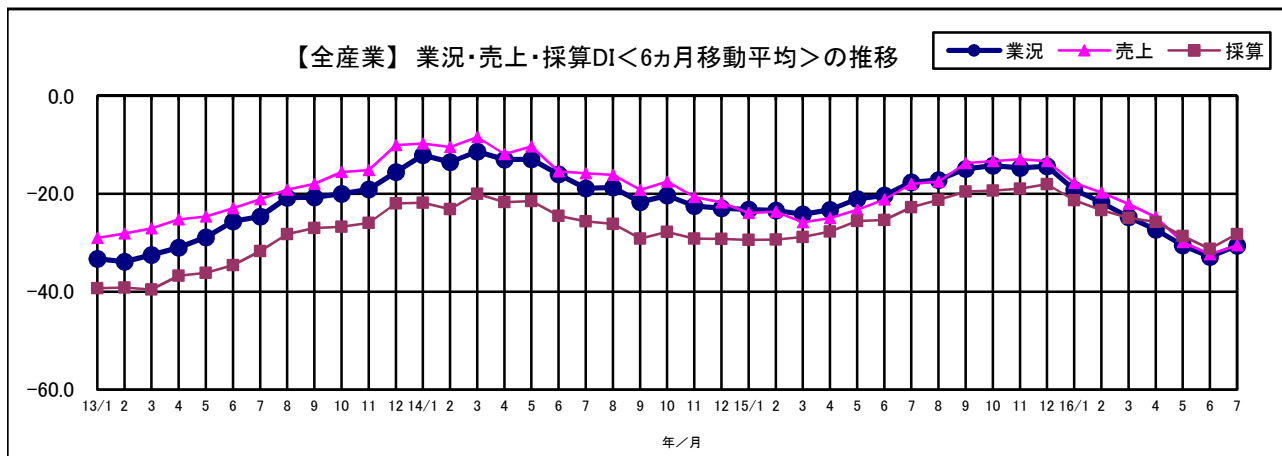
柏崎地域全体の業況DI(前年同月比)は▲26.7となり、前月から3.5ポイント改善した。売上・採算・資金繰りDIもマイナス幅が縮小した。

7月期と比較した向こう3カ月の先行き見通しについては、業況・売上・採算・資金繰りDIともマイナス幅が拡大している。

【移動平均分析(全産業)】

時系列データでみた場合、データの変化が激しく、基本的な変化の傾向がつかみにくいことがあります。移動平均という方法を用いることにより、データ全体の変化の傾向を解析することができます。

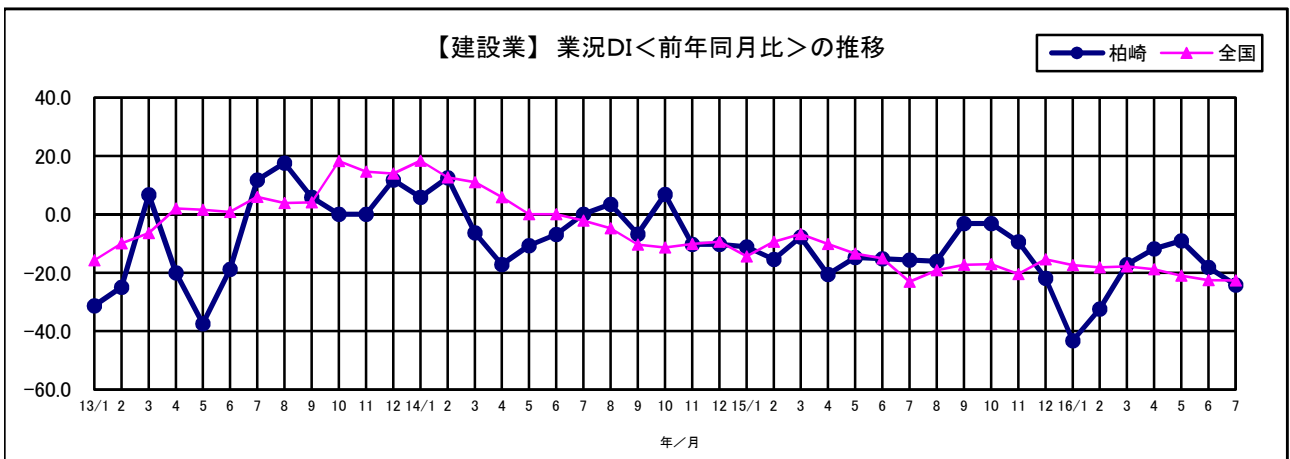
ここでは、業況・売上・採算の三項目について、当該月を含めて過去6ヵ月分の平均値を連続的に求め、グラフ化しています。



◆産業別調査結果

【建設業】

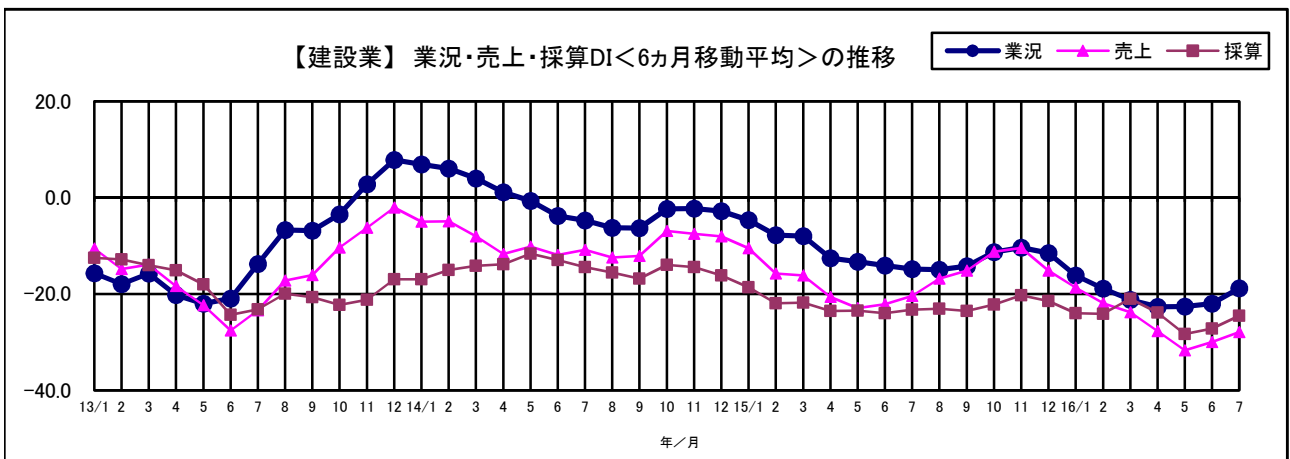
項目		16年2月	16年3月	16年4月	16年5月	16年6月	16年7月	先行き見通し 8月～10月
業況	柏崎	▲ 32.4	▲ 17.2	▲ 11.8	▲ 9.1	▲ 18.2	▲ 24.2	▲ 15.2
	全国	▲ 18.2	▲ 17.8	▲ 18.8	▲ 21.0	▲ 22.5	▲ 22.6	▲ 19.2
売上	柏崎	▲ 32.4	▲ 20.7	▲ 23.5	▲ 39.4	▲ 27.3	▲ 24.2	▲ 18.2
	全国	▲ 23.2	▲ 16.4	▲ 16.0	▲ 17.7	▲ 16.1	▲ 23.8	▲ 7.1
採算	柏崎	▲ 26.5	▲ 3.4	▲ 29.4	▲ 36.4	▲ 27.3	▲ 24.2	▲ 21.2
	全国	▲ 19.1	▲ 18.3	▲ 19.2	▲ 17.3	▲ 14.0	▲ 28.8	▲ 21.1
資金繰り	柏崎	▲ 11.8	▲ 3.4	▲ 8.8	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 6.1	▲ 6.1
	全国	▲ 7.7	▲ 10.2	▲ 6.2	▲ 8.3	▲ 9.8	▲ 8.2	▲ 8.3
仕入単価	柏崎	▲ 26.5	▲ 27.6	▲ 29.4	▲ 36.4	▲ 33.3	▲ 24.2	▲ 21.2
	全国	▲ 23.3	▲ 27.1	▲ 20.9	▲ 20.1	▲ 20.2	▲ 20.8	▲ 23.2
従業員	柏崎	5.9	10.3	2.9	12.1	12.1	30.3	39.4
	全国							21.9
資金借入難易感	柏崎	0.0	3.4	0.0	▲ 3.0	3.0	0.0	6.1



業況DIは▲24.2となり、前月から6.0ポイント悪化した。売上・採算DIはマイナス幅が若干縮小した。業態別にみると、総合工事業では、業況・売上・採算の項目において、「好転・増加」の回答が一件も見られなかった。

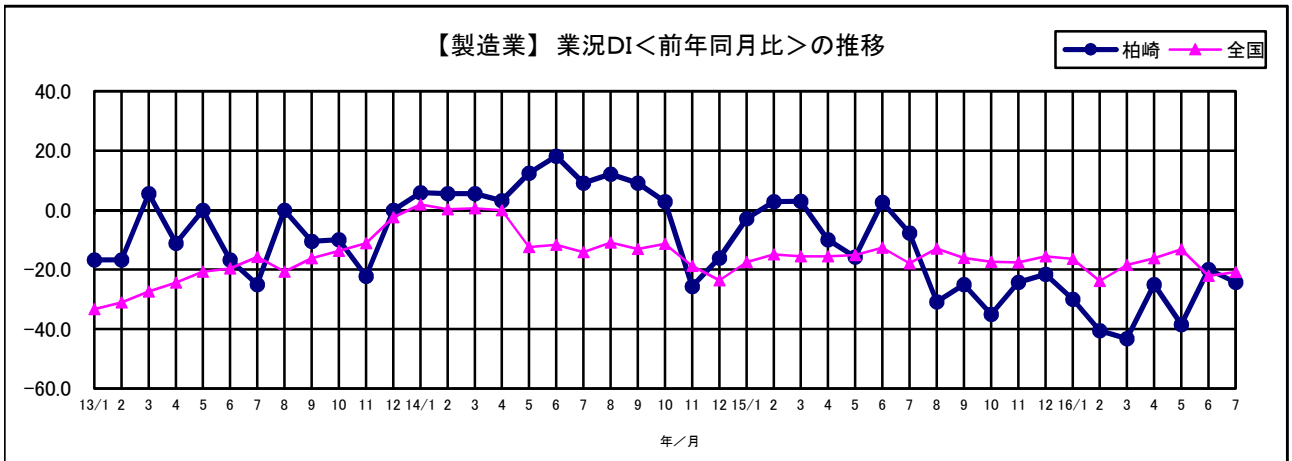
先行きについては、業況・売上・採算DIはマイナス幅が縮小、資金繰りDIは横ばいとなっている。

【移動平均分析(建設業)】



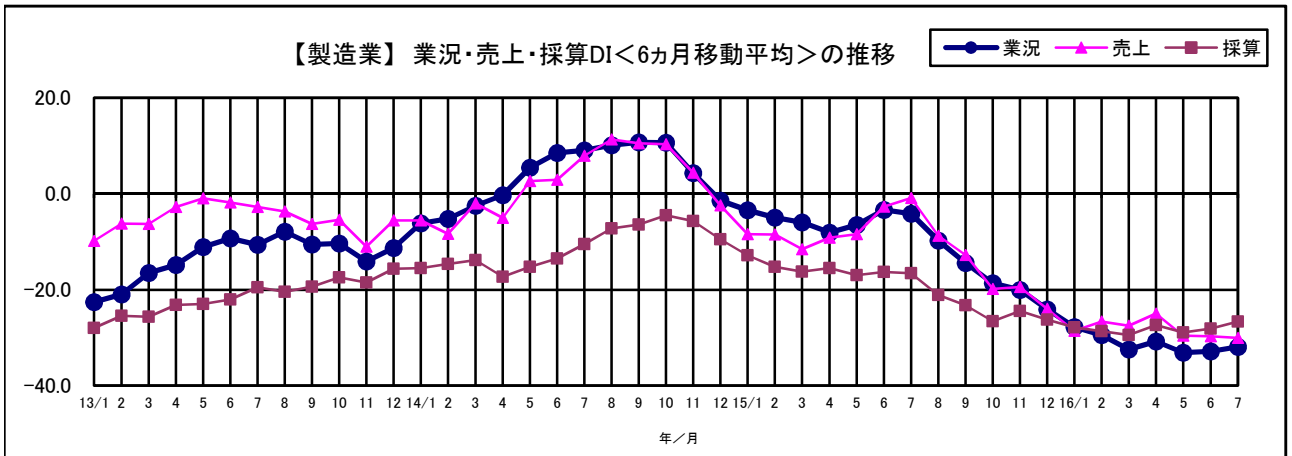
【製造業】

項目		16年2月	16年3月	16年4月	16年5月	16年6月	16年7月	先行き見通し 8月～10月
業況	柏崎	▲ 40.5	▲ 43.2	▲ 25.0	▲ 38.5	▲ 20.0	▲ 24.3	▲ 37.8
	全国	▲ 23.8	▲ 18.4	▲ 16.2	▲ 13.2	▲ 22.1	▲ 20.8	▲ 18.4
売上	柏崎	▲ 27.0	▲ 35.1	▲ 27.5	▲ 43.6	▲ 22.5	▲ 24.3	▲ 37.8
	全国	▲ 19.8	▲ 12.5	▲ 4.9	▲ 5.1	▲ 15.8	▲ 17.0	▲ 19.1
採算	柏崎	▲ 43.2	▲ 29.7	▲ 17.5	▲ 28.2	▲ 25.0	▲ 16.2	▲ 32.4
	全国	▲ 25.2	▲ 17.6	▲ 10.6	▲ 11.4	▲ 16.7	▲ 18.6	▲ 16.9
資金繰り	柏崎	▲ 13.5	▲ 21.6	▲ 15.0	▲ 17.9	▲ 7.5	▲ 5.4	▲ 8.1
	全国	▲ 12.5	▲ 9.7	▲ 6.0	▲ 7.1	▲ 9.4	▲ 10.6	▲ 11.2
仕入単価	柏崎	▲ 5.4	▲ 10.8	▲ 10.0	▲ 17.9	▲ 12.5	▲ 2.7	▲ 8.1
	全国	▲ 18.2	▲ 13.1	▲ 15.0	▲ 12.5	▲ 13.1	▲ 14.3	▲ 12.5
従業員	柏崎	16.2	5.4	2.5	2.6	2.5	2.7	▲ 2.7
	全国							5.2
資金借入難易感	柏崎	18.9	8.1	12.5	7.7	10.0	16.2	13.5



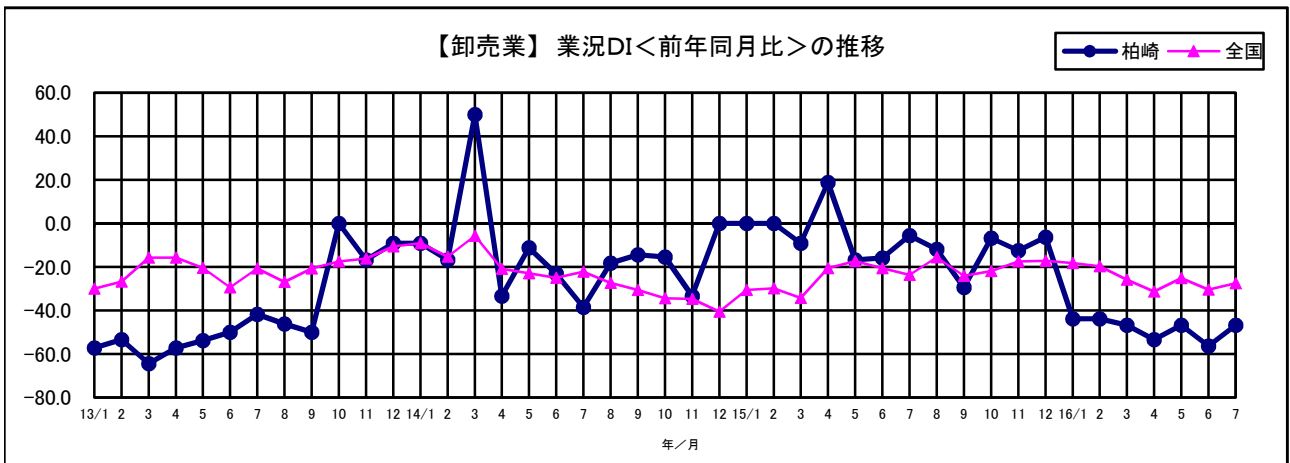
業況DIは▲24.3となり、前月から4.3ポイント悪化した。売上DIはほぼ横ばい、採算・資金繰りDIはマイナス幅が縮小した。
先行きについては、業況・売上・採算・資金繰りDIともマイナス幅が拡大している。

【移動平均分析(製造業)】



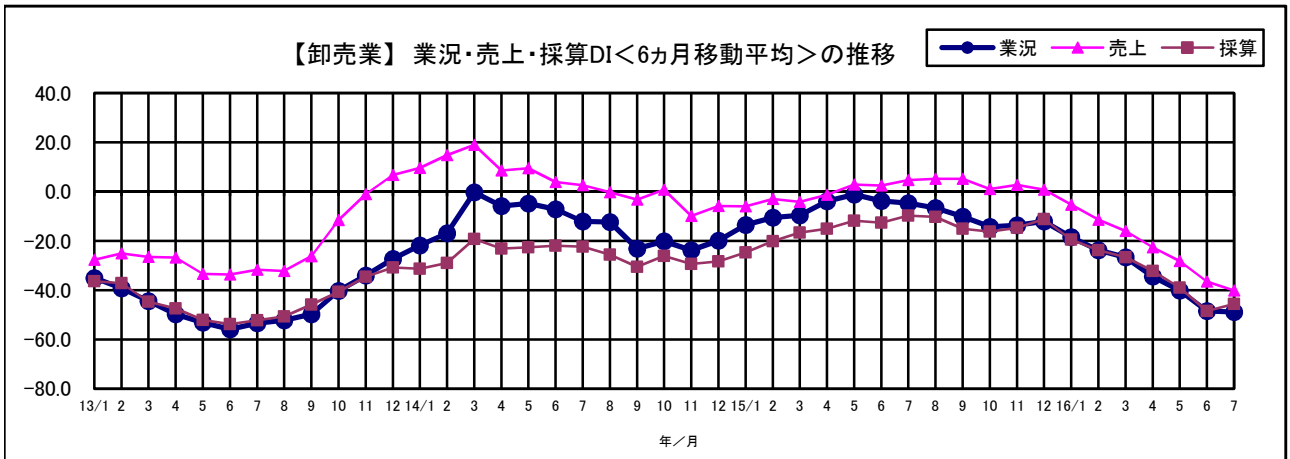
【卸売業】

項目		16年2月	16年3月	16年4月	16年5月	16年6月	16年7月	先行き見通し 8月～10月
業況	柏崎	▲ 43.8	▲ 46.7	▲ 53.3	▲ 46.7	▲ 56.3	▲ 46.7	▲ 26.7
	全国	▲ 19.7	▲ 25.9	▲ 31.3	▲ 25.1	▲ 30.4	▲ 27.5	▲ 23.8
売上	柏崎	▲ 25.0	▲ 26.7	▲ 40.0	▲ 40.0	▲ 56.3	▲ 53.3	▲ 26.7
	全国	▲ 13.9	▲ 12.3	▲ 13.0	▲ 15.9	▲ 30.4	▲ 20.6	▲ 13.2
採算	柏崎	▲ 37.5	▲ 46.7	▲ 46.7	▲ 53.3	▲ 56.3	▲ 33.3	▲ 20.0
	全国	▲ 14.1	▲ 11.2	▲ 14.8	▲ 11.8	▲ 23.8	▲ 17.7	▲ 13.8
資金繰り	柏崎	▲ 12.5	▲ 6.7	▲ 6.7	▲ 20.0	▲ 18.8	▲ 6.7	▲ 6.7
	全国	▲ 5.2	▲ 4.3	▲ 6.2	▲ 10.0	▲ 4.8	▲ 5.0	▲ 6.3
仕入単価	柏崎	▲ 12.5	▲ 26.7	▲ 20.0	0.0	18.8	▲ 6.7	▲ 6.7
	全国	▲ 24.7	▲ 31.3	▲ 28.6	▲ 24.0	▲ 24.0	▲ 23.8	▲ 18.8
従業員	柏崎	18.8	20.0	13.3	6.7	6.3	6.7	13.3
	全国							10.6
資金借入難易感	柏崎	18.8	6.7	20.0	6.7	0.0	6.7	6.7



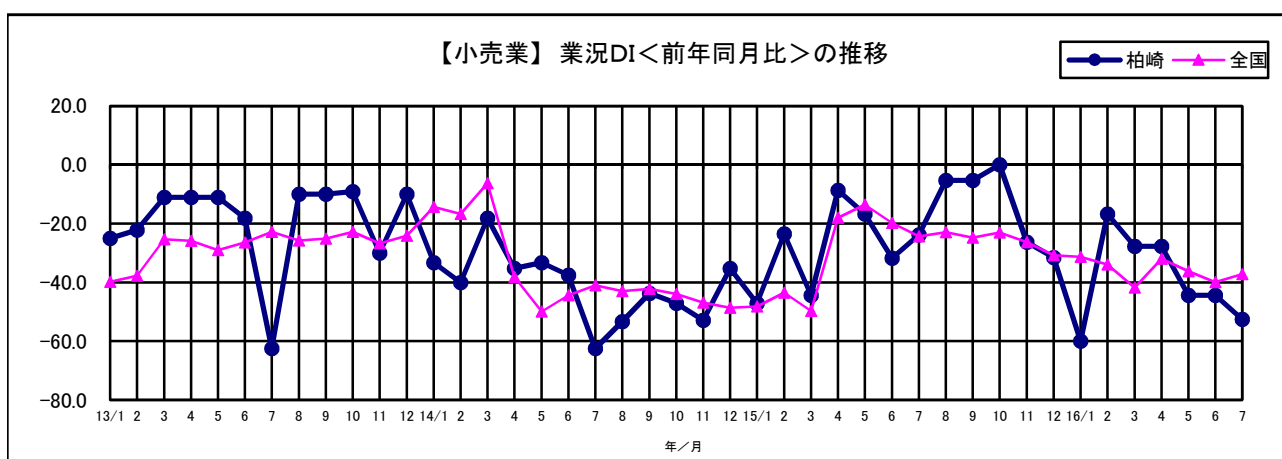
業況DIは▲46.7となり、前月から9.6ポイント改善したが、依然としてその度合いが高く、厳しい様子が感じられる結果となった。
先行きについては、業況・売上・採算DIともマイナス幅が大きく縮小している。

【移動平均分析(卸売業)】



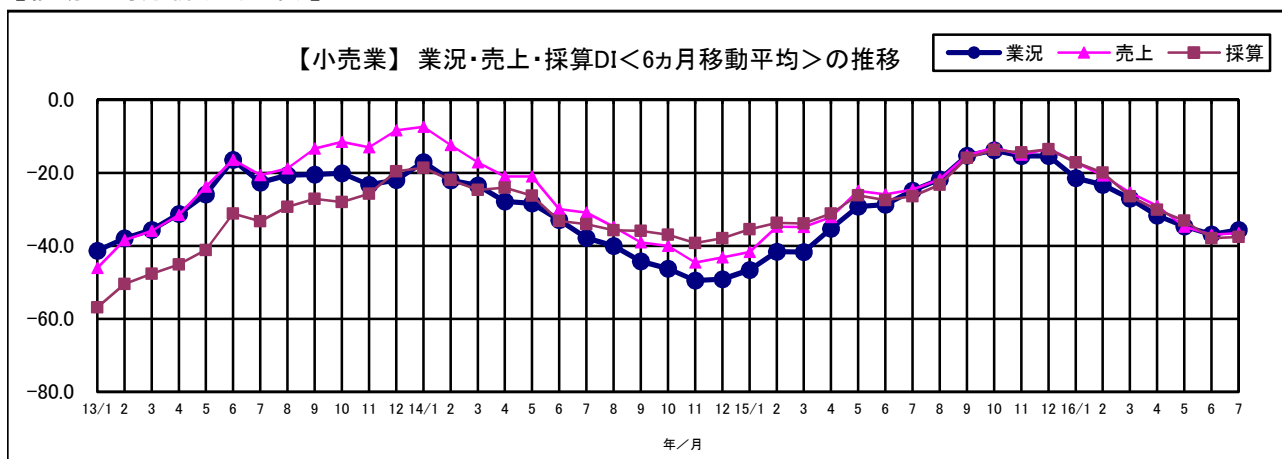
【小売業】

項目		16年2月	16年3月	16年4月	16年5月	16年6月	16年7月	先行き見通し 8月～10月
業況	柏崎	▲ 16.7	▲ 27.8	▲ 27.8	▲ 44.4	▲ 44.4	▲ 52.6	▲ 42.1
	全国	▲ 34.0	▲ 41.8	▲ 32.0	▲ 36.2	▲ 39.9	▲ 37.2	▲ 37.4
売上	柏崎	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 22.2	▲ 50.0	▲ 44.4	▲ 52.6	▲ 31.6
	全国	▲ 24.1	▲ 25.6	▲ 28.7	▲ 35.9	▲ 38.5	▲ 30.8	▲ 34.3
採算	柏崎	▲ 27.8	▲ 33.3	▲ 22.2	▲ 38.9	▲ 55.6	▲ 47.4	▲ 42.1
	全国	▲ 30.0	▲ 28.3	▲ 29.9	▲ 31.5	▲ 36.3	▲ 29.5	▲ 33.2
資金繰り	柏崎	▲ 27.8	▲ 16.7	▲ 22.2	▲ 27.8	▲ 33.3	▲ 26.3	▲ 15.8
	全国	▲ 22.2	▲ 22.7	▲ 18.0	▲ 23.1	▲ 22.9	▲ 19.9	▲ 19.9
仕入単価	柏崎	▲ 33.3	▲ 22.2	▲ 27.8	▲ 22.2	▲ 33.3	▲ 15.8	▲ 15.8
	全国	▲ 34.9	▲ 32.6	▲ 36.3	▲ 27.1	▲ 23.7	▲ 22.9	▲ 22.1
従業員	柏崎	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	0.0	5.3
	全国							21.9
資金借入難易感	柏崎	0.0	0.0	11.1	▲ 5.6	▲ 5.6	▲ 10.5	▲ 5.3



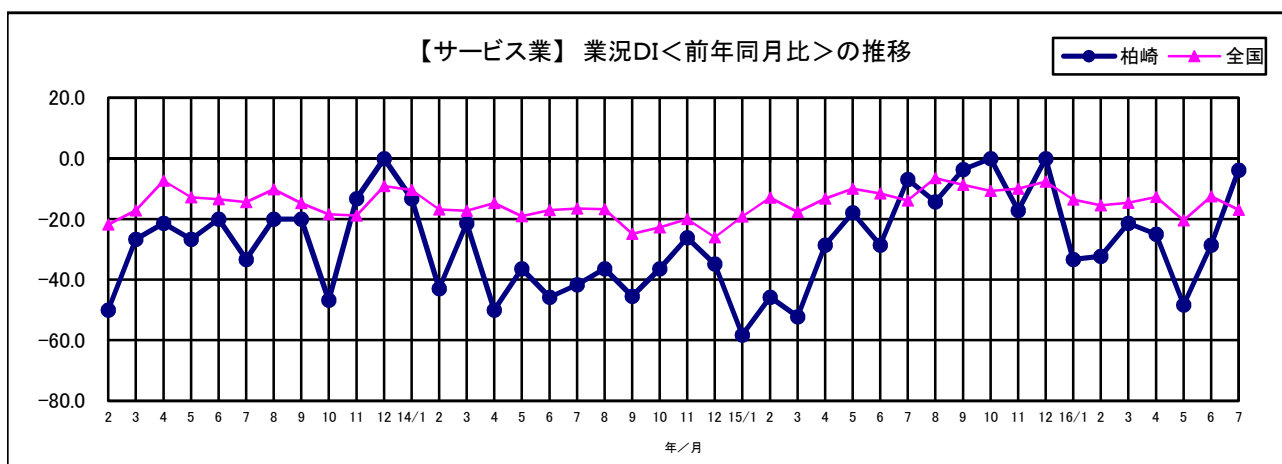
業況DIは▲52.6となり、前月から8.2ポイント悪化した。売上DIも同様にマイナス幅が拡大した。先行きについては、業況・売上・採算DIとも7月期からマイナス幅が縮小しているものの、厳しい見方が続いている。

【移動平均分析(小売業)】



【サービス業】

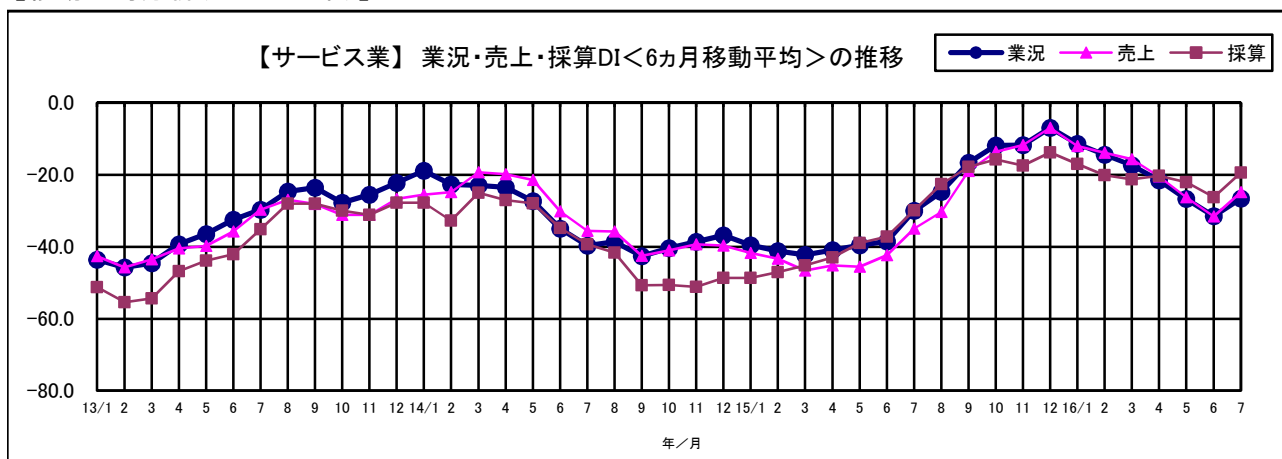
項目		16年2月	16年3月	16年4月	16年5月	16年6月	16年7月	先行き見通し 8月～10月
業況	柏崎	▲ 32.3	▲ 21.4	▲ 25.0	▲ 48.3	▲ 28.6	▲ 3.8	▲ 26.9
	全国	▲ 15.5	▲ 14.6	▲ 12.7	▲ 20.4	▲ 12.5	▲ 16.9	▲ 17.9
売上	柏崎	▲ 29.0	▲ 3.6	▲ 28.6	▲ 51.7	▲ 32.1	▲ 3.8	▲ 30.8
	全国	▲ 14.2	▲ 7.7	▲ 3.1	▲ 14.4	▲ 10.9	▲ 13.2	▲ 11.7
採算	柏崎	▲ 29.0	▲ 21.4	▲ 14.3	▲ 31.0	▲ 32.1	11.5	▲ 15.4
	全国	▲ 17.3	▲ 10.5	▲ 9.8	▲ 20.2	▲ 12.8	▲ 17.2	▲ 19.5
資金繰り	柏崎	▲ 25.8	▲ 14.3	▲ 10.7	▲ 24.1	▲ 17.9	7.7	▲ 11.5
	全国	▲ 10.9	▲ 8.3	▲ 7.5	▲ 12.5	▲ 9.9	▲ 12.4	▲ 15.9
仕入単価	柏崎	▲ 29.0	▲ 25.0	▲ 35.7	▲ 17.2	▲ 32.1	▲ 23.1	▲ 19.2
	全国	▲ 24.2	▲ 22.9	▲ 28.1	▲ 29.6	▲ 28.1	▲ 24.5	▲ 24.5
従業員	柏崎	16.1	14.3	21.4	6.9	10.7	23.1	23.1
	全国							24.2
資金借入難易感	柏崎	▲ 12.9	▲ 10.7	3.6	▲ 6.9	▲ 3.6	15.4	3.8



業況DIは▲3.8となり、前月から24.8ポイント改善した。売上DIもマイナス幅が大幅に縮小、採算・資金繰りDIはプラスに転じており、これらは観光サービス業が比較的好調だったことが要因として挙げられる。

しかし、先行きについては、業況・売上DIはマイナス幅が拡大、採算・資金繰りDIはマイナスに転じており、厳しい見通しを示している。

【移動平均分析(サービス業)】



◆7月調査に寄せられたコメント(自社の動向、経営上の課題など)

<製造業>

- ・新規開拓を精力的に行っている。(機械金属製造業)
- ・同業の中でも好・不況の差があり、二極化する方向である。業界再編の動きが加速しそうである。(機械金属製造業)
- ・10月完成を目標に新工場を建設中である。(機械金属製造業)

<卸売業>

- ・日本海の水揚げ量が極端に減っている。原因は海水温の上昇と資源の枯渇が考えられ、この状況は9月以降も続くと思われる。例年なら今は北海道でイカが獲れる時期だが、全く水揚げが無い状況である。(食料品卸売業)

<小売業>

- ・中元商戦の個数、単価は下がっている。市内の消費マインドは厳しさが続いている。市外・県外の状況は堅調に推移しているが、予断を許さない。(一般小売業)

<サービス業>

- ・宴会・食事が前年比131%と伸びた。地元企業から会員価格で多く利用してもらい、入浴者は112%の伸び、売上も同じく伸びた。海水浴帰りのお客、特に家族連れは少なかった。(一般サービス業)
- ・7月は、売上は比較的安定して推移したものの先行きの見通しは厳しい状況のままである。(一般サービス業)
- ・全体的に消費行動が弱い感じがする。(一般サービス業)

◆参考:日商調査に寄せられたコメント

<建設業>

「公共工事では、国や県の発注量は前年同月比で減少しているものの、市町村の発注量は増加した。今後、補正予算などにより国・県の発注も増加することに期待」(一般工事業)「英国のEU離脱決定によって、英国での事業に出資している既存取引先が、設備投資等に慎重になるのではないかと、懸念している」(電気工事業)

<製造業>

「円高により、輸入原材料の仕入価格が低下したことで、採算に改善がみられた」(水産食料品製造業)「熊本地震で瓦が落下したとの報道により、瓦の需要が低迷している。特に関西での需要に落ち込みが目立つ」(窯業)「中国経済の減速や円高の進行による造船業の生産減少に応じて、その部品を製造する当社への発注量も減少している」(金属製造業)

<卸売業>

「売上の伸びが期待できないため、仕入先や仕入商品を変え、粗利を改善させた。今後は、他企業と協力して、プライベートブランドの開発に取り組む」(食料品卸売業)「天候不順などにより、一部の農産物の品質悪化や数量の減少が見られ、価格が高騰している。8月一杯はこの状況が続く見込み」(農産物卸売業)

<小売業>

「円高の影響により、高額な陶磁器を中心にインバウンド需要が減少傾向にあり、海外向けのインターネット販売も低迷している」(小売業)「お中元の売上は好調で、前年同月比を上回ったものの、高額品の低迷が全体の売上額を押し下げている」(百貨店)「夏のセールで値頃感が出たブランド衣料品の売上が好調で、前年を上回り推移している」(商店街)

<サービス業>

「夏場にかけて飲料品の出荷が伸び、対応できるか心配したが、女性ドライバーの活用で乗り越えられそう」(運送業)「7月は祭りなどの大きなイベントが多く、観光客を中心に売上は増加した。引き続き8月も予約は好調である」(旅館業)「九州を中心とした豪雨の影響で、昨年に比べて客足が伸びず、売上が悪化した」(飲食店)